

模擬熟議「中予小学校学校運営協議会」シナリオ

1 設定

(1) テーマ

これからの子どもの育てたい姿を共有する

～学校や子ども、地域の課題を見つけて解決に向けた取組を考えよう～

(2) 参加者

会長、副会長兼地域コーディネーター、校長、教頭、NPO 法人アソビバ理事、
公民館長、PTA 会長、民生児童委員

(3) 内容

○ 第 2 回学校運営協議会の設定で実施

(※第 1 回学校運営協議会において学校経営方針の承認及び共通目標は決定済み)

○ 本時の流れ

- ① 学校運営協議会の目標の共有（育てたい子どもの姿の確認）
- ② 現状や課題の共有（話しやすい雰囲気のもと、それぞれの立場で意見を言う）
- ③ 課題の整理及び課題解決に向けたアイデアの提案（ラベルワークを用いたグループ熟議）
- ④ 熟議内容の発表及び全体協議
- ⑤ 取組内容の決定及び第 3 回学校運営協議会の展望

2 シナリオ I（ラベルワークまで）

※ 下線部分は「重要ポイント」、三つの共通目標に対して、黄色マーカーは「できていること」、青マーカーは「課題」を示しています。

☆エピローグ☆ 会長と校長の二人で事前の打合せの様子を演技する。

【（進行）ここは中予小学校の学校運営協議会が行われる会議室です。会の前に校長先生と会長が、何か話をしています。】

〈会長〉

校長先生、今日の会はどのような話の流れにもっていきますか。

〈校長〉

はい、以前電話でもお伝えしましたように、今日の会では・・・（二人で相談）

（※全員が席に着く）

〈教頭（司会）〉

委員の皆様、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。ただ今より第 2 回中予小学校学校運営協議会を始めます。司会は教頭の〇〇が担当します。よろしくお願いします。はじめに、会長より、ご挨拶をいただきます。

〈会長〉

皆様こんばんは。中予小学校学校運営協議会会長の〇〇です。令和 7 年度の本学校運営協議会がスタートを切りました。いよいよ本格的に熟議・協議・マネジメントを重ねて、本協議会が目指す共通の目標に向かっていかなければなりません。委員の皆様には、当事者意識を持って、取り組んでいただくよう再度お願いし、開会のご挨拶とします。

〈教頭（司会）〉

〇〇会長ありがとうございました。では、前回の第Ⅰ回学校運営協議会の内容の確認を行います。副会長お願いします。

〈副会長（地域コーディネーター）〉

副会長で地域コーディネーターの〇〇です。第Ⅰ回学校運営協議会では、委員の任命のあと、会長・副会長の選出を行いました。その後、校長先生から学校経営の基本方針の説明を受け、協議の結果、承認されました。それを受け、本協議会の共通の目標を協議の結果、以下の３点に決定しました。

一つ目は、子どもの確かな学力の保障、二つ目は、地域を愛する心豊かな子どもの育成、三つめは、子どもの安心・安全な学校・地域づくり。以上です。

〈教頭（司会）〉

本日は熟議を行います。では熟議の課題を本校校長より提案いたします。

〈校長〉

先ほど副会長から報告であったように、第Ⅰ回の会で本校の経営方針を承認していただき、本協議会の共通目標を「子どもの確かな学力の保障」「地域を愛する心豊かな子どもの育成」「子どもの安心・安全な学校づくり」の３点に決定しました。これらは我が校の校訓でもある「自ら考える子」「心豊かな子」「健やかな子」にも合致するものであり、学校現場におきましても、校訓の示す子ども像の実現に向けて、懸命に取り組んでいます。さて、本日はこれらの共通目標に関して、子どもたちはもちろん、学校や地域の課題についてご意見いただき、その課題解決をしていくための取組について熟議をお願いします。学校・地域と異なる視点から見える課題について共有し、自分たちにできる取組について協議できればと思います。

〈教頭（司会）〉

今の提案につきまして、何か意見や聞きたいことはありませんか。

〈公民館長〉

ちょっといいですか。学力といっても学校の授業をいつも見ているわけではないので、よく分かりません。勉強ができるようにするのは学校の仕事でしょうし、家庭ではお金を払って塾通いをさせています。公民館の側からできることって、何かあるんでしょうかね？

〈民生児童委員〉

私からもいいですか。学力の保障となると、学校での授業が中心になると思いますが、外野がいろんなことを言っては、学校や先生がやりにくくなるのではありませんか。先生側から計画を出してもらえれば助かりますね。

〈副会長（地域コーディネーター）〉

ちょっと待ってください。学校がすることを話し合うのではなく、自分たちに何ができるか話し合うのがこの会議のはずです。ただ、子どもたちの学力の保障については、私たちには少し見えないところがありますので、今学校ではどのようなことに取り組んでいるのか教えてください。

〈校長〉

学力の保障といえば、やはり普段の授業が大切です。今、本校では「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現に向けて、タブレット端末の活用や話し合い活動に力を入れて授業や毎月1回の校内研修を行っています。ただ、タブレット端末は一人一台導入されていますが、全教員がICTに堪能というわけではありません。授業や研修以外の取組として、朝の8時から10分間は漢字・計算練習の時間にしています。しかし、朝は気持ちが不安定な子が多く、不登校対応に追われる教員も少なくありません。そのため、教室にいる子どもたちをしっかりと見とれていないのが現状で、このような対応が1日続くこともあります。他にも、状況や時期によっての差はありますが、最近は熱中症対策や防災教育などの喫緊の課題にも取り組んでおり、授業準備などに十分に時間をさけていないのが現状です。

〈公民館長〉

へえ～。最近報道でもよく見るけれど、先生の仕事は多岐にわたって本当に大変ですね。学力の保障といっても、授業だけが問題じゃないってことです。

〈PTA会長〉

学校に任せるばかりじゃいけませんね。子どもたちのために、自分たちができることを一緒に考えないと。

〈教頭（進行）〉

ご理解いただき、ありがとうございます。学校のことをもっと地域に発信すべきとは思いますが、なかなか進んでいないのが現状です。あわせて、教員は異動があるため、地域のことをあまり知らない教員が多いことも課題の一つです。地域コーディネーターの酒井さんには、総合的な学習の時間で地域学習を推進していただき、いつも大変ありがたいです。

この流れで、共通目標につきまして、現状や課題を共有していきたいと思います。皆様、いかがですか。

〈副会長（地域コーディネーター）〉

私からいいですか。総合的な学習の時間の授業で、地域の文化財の紹介や戦争の語り部など、地域人材・地域教材と学校とをつなぐ役割をしています。子どもたちは一生懸命話を聞いたりメモをとったりして、興味をもって地域のことを学習しています。先ほど、教頭先生から「教員が地域のことをあまり知らない」とありましたが、地域に住んでいる大人も地域のことを知らない人が多くなってきたように感じます。

〈公民館長〉

公民館長の〇〇です。公民館主催の地域行事を開催すると、中予小学校の子どもたちはたくさん参加してくれます。たしかに親の行事への参加は減っている気もしますが、上級生が下級生のお世話を上手にしている様子をよく見掛けます。ただ、ルールをしっかりと守る反面、自分に自信がなくて失敗を恐れる子が増えてきたような気がします。目を見て話すとか、対話が苦手な子も最近多いですね。

〈民生児童委員〉

民生児童委員の〇〇です。朝、見守りで通学路に立っていると、みんな私語をせずに、一列になって安全に歩いてはいますが、挨拶の声が以前よりも小さくなっているような気がしますね。熱中症対策で朝でも日傘を差している子が増えましたが、視界が悪くなっています。最近大型商業施設ができたためか、交通量が増えたので、事故が起きないか心配です。あと、最近生活習慣の乱れについての相談をよく受けます。夜中遅くまでゲームをしたり、動画を見たりして夜更かしをする子が増えているようですね。朝の元気のなさに関係あるように思います。

〈NPO 法人理事〉

NPO 法人アソビバで親子キャンプや体験学習会を実施している〇〇です。少し話は変わりますが、1 番の課題は体験不足ですね。子どもたちは学校での勉強以外にいろいろな体験をすることで、生きる力を身に付けていくのだと思います。そういえば、先日、親子キャンプ中に地震速報が鳴ったのですが、みんな慌てて、すぐに適切な行動ができた人は少なかったですね。学校でも防災学習を実施していると言われていましたが、体験的な学習が行われていないのかなと感じています。

〈校長〉

今、体験の話が出ていますが、私は体験を通して、学ぶ意欲や協調性、やり抜く力など、学力につながる大切な力が子どもたちに身に付くと考えています。例えば、放課後の金管バンド練習や水泳・陸上練習に取り組む児童は、学習への姿勢が変わってくると担任からもよく聞きます。授業の中にももっと体験的な学習も取り入れていきたいのですが、計画や準備等が大変で、なかなか実施できていないのが現状です。

〈PTA 会長〉

PTA 会長の〇〇です。春の運動会では子どもたちの頑張る様子を多く見ることができてうれしかったです。中予小学校では、6 年生が中心となって学校行事を盛り上げていくよい伝統があります。たしかに、このような体験の中で子どもたちは大切な力を身に付けているように感じます。ただ、コロナ禍以降、地域の人の学校行事への参加の割合が減った気がしますね。学校行事は学校を知るためのよい機会となりますし、もっと子どもたちの頑張る姿を地域の人にも見てもらいたいですね。

〈会長〉

私も運動会の子どもの頑張りを見て感動しました。やはり子どもたちは地域の宝です。学校・地域がしっかりと連携して、この中予地区を愛する子どもたちを育てていきたいと改めて感じた時間でした。そのためにも、今回様々な視点から課題が出ていますので、まずはこれらを整理し、それぞれの課題の解決に向けて実行できるアイデアについて、みんなで知恵を汗を出していきましょう。

〈教頭（司会）〉

皆様、三つの共通目標について、様々なご意見ありがとうございます。今、会長が言われましたように、これらの課題を整理して、自分たちができることを考えていくために、これからグループに分かれてラベルワークによる熟議を行います。副会長より、熟議の要領について説明をお願いします。

〈副会長〉

熟議の要領について、説明します。

これから「学力」「心」「安心・安全」の三つのグループに分かれ、各グループで課題を整理し、自分たちができることについて熟議していきます。付箋を利用し模造紙に熟議内容をまとめてください。進行は事前をお願いをしています。時間は50分間です。時間が来ましたら、各グループの熟議の内容を発表してもらいます。それでは、進行の委員さんの指示をお願いします。

～座席移動～

「学力」グループ

会長、副会長（地域コーディネーター）、校長、公民館長、民生児童委員

〈副会長（「学力」グループ司会）〉

今回の熟議のテーマについて確認します。この学校運営協議会の共通の目標の一つ「子どもの確かな学力の保障」について、それぞれの立場で、当事者として解決案を考えていきます。

まず「子どもの確かな学力の保障」について、できていることを黄色の付箋、課題を青の付箋に書いてください。時間は3分間です。始めてください。書き終わった委員さんから模造紙に貼ってください。私がグルーピングしていきます。

【〈進行〉この後、付箋で出た課題を整理していきますが、この部分は時間の都合上カットします。黄色と青の付箋紙を貼り、グルーピングを終えた状況からスタートします。なお、後半の演習では、これらの付箋をグルーピングするところから、ラベルワークを実践していただくようになります。模造紙の付箋はプロジェクターで投影しますので、前のスクリーンをご覧ください。】

3 「子どもの確かな学力の保障」の熟議における付箋

黄色（できていること）	青色（課題）	ピンク色（解決案）
<p>〈授業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の授業 →個別最適な学び・協働的な学び ・話し合い活動の充実 ・タブレット機器の活用 <p>〈授業以外〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の充実 ・朝の 10 分間の学習時間 ・放課後の課外活動で成長 <p>〈学校行事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事（運動会等）が充実 ・6年生が学校行事を盛り上げる →体験から成長 <p>〈地域学習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合の授業での地域学習 ・地域学習への興味・学習意欲◎ ・防災教育の実施 	<p>〈授業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の準備 ・ICT に堪能でない ・学習意欲の差 <p>〈授業以外子どもへの対応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝不安定な子 ・不登校対応 ・子どもたちを見る時間 <p>〈子どもの体験不足〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体験不足 ・子どもの体験格差 ・体験的な学習が少ない →計画や準備が大変 <p>〈学校のことを知らない〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子が分からない <p>〈地域のことを知らない〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のことを知らない教員 <p>〈コミュニケーション〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に自信のない子が増えた ・対話が苦手な子 ・自分の意見が言えない <p>〈生活習慣〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームや動画による生活習慣の乱れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによる登校時の受け入れサポート ・学習ボランティアの募集 ・子どもに関わるボランティアの研修 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の名所・名人紹介資料の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが地域で活動を企画・運営する場

※ 黄色と青色の付箋が模造紙に貼られ、ピンクの付箋を書き終えた状態からスタートします。

※ 青色付箋（課題）のくく内はグルーピングの題です。

4 シナリオⅡ（ラベルワーク以降）

【〈進行〉引き続き、課題の解決に向けたアイデアをまとめていく様子をご覧ください。】

〈副会長（学力グループ司会）〉

それでは、整理した課題の解決に向けたアイデアを出していただき、学力グループの意見をまとめていきたいと思います。

〈民生児童委員〉「ボランティアによる登校時の受け入れサポート」付箋を貼る

まず私からいいですか。「授業以外の子どもへの対応」への取組として、「ボランティアによる登校時の受け入れサポート」を考えました。現在の学校の状況を考えると、早急に取り組む必要があると思いますが、皆様いかがですか。

〈副会長（学力グループ司会）〉

はい。ここは早急に取り組むべき課題だと思います。今、登校見守り活動として、PTAだけでなく各自治会や敬老会の皆様など、毎日多くの方に子どもたちの登校の様子を見守っていただいています。その中の何名かに、通学路ではなく、校舎内の見守り活動をしていただければいかがでしょうか。

〈公民館長〉

でも、校舎内にいることはできても、子どもたちの指導とかはできませんよ。地域の方は先生ではないんですから。

〈校長〉

子どもたちへの指導はわれわれ教員の役割です。でも、親に車で送られて駐車場から入りにくそうにしている子や、教室に入らず校舎内を歩いている子に声を掛けていただだけでも、子どもたちは見守られていると感ずることが出来ます。今、多くの教員で朝の駐車場と校舎内外の見回り役を決めていますが、その役割をお願いできれば、朝の学習時間に教員が教室にすることが出来ます。

〈公民館長〉

なるほど。先生でなくても学力保障のために手伝えることがあるんですね。

〈副会長（学力グループ司会）〉「学習ボランティア募集」付箋を貼る

関連して、学習ボランティアを募集してみてもどうでしょう。うちの息子が2年生のときに毎日九九カードの練習をしていたのですが、全部の段を言えるようになるまで、朝の時間や休み時間に先生がクラス全員分確認していて大変そうでした。これくらいの学習ボランティアなら、空いている時間に少し入れるかもしれません。

〈会長〉

なるほど。子どもたちが安心して学校生活を始められるように、地域でできることが多くありそうですね。全体協議でPTAの方にも投げ掛けてみましょう。

〈公民館長〉

ところで、先生じゃない人が校舎内にいて、不審者と間違われることはありませんかね。

〈民生児童委員〉

登校の見守り用ベストをそのまま着ていれば大丈夫だと思います。いつも朝の登校で顔を合わせていますから、子どもたちにとっても顔見知りの地域の人が多いはずです。

〈会長〉「子どもに関わるボランティアの研修」付箋を貼る

すぐのことではありませんが、いずれは「子どもに関わるボランティアの研修」を開催してもよいかもしれませんね。昔は「引っ張ってでも学校に連れていく」というのが当たり前でしたけれど、今は温かく見守ることが大切と聞きます。

〈校長〉

そうですね。最初はあくまでも見守りスタイルでお願いします。随時相談していきながら、よりよいスタイルを見付けていければと思います。

～みんなうなづく～

〈副会長（学カグループ司会）〉

他にありませんか。

〈校長〉「子どもが地域で活動を企画・運営する場」付箋を貼る

いいですか。「コミュニケーション」の課題に対して、「子どもが地域で活動を企画する場」があればよいと思います。教員は積極的に授業に話し合い活動を取り入れています。子どもたちが話し合いをあまり必要とっていないのか、さほど意欲的でない態度が見られます。実生活とあまり結び付いていないのかもしれませんが。こちらの課題の「体験不足」とも関連付くところですが、普段の生活や地域行事の場でも、大人が指示するだけでなく、子どもたちが話し合って活動を企画・運営するような場があればと考えています。

〈公民館長〉

いいですね。公民館行事もこちらが活動を提供する公民館主体型の活動だけでなく、地域住民が主体となって行う活動を実施したいと考えています。子どもたちが話し合って企画・運営していく活動は面白そうですね。

〈会長〉

そういえば、南予地区では、「ホリバタ」といって中高生が地域の課題について出し合い、その課題解決に向けて、自分たちにできることを考え、実行していくという集まりがあるらしいですよ。この中予地区にも中学校・高校がありますので、子ども会などの小学校のうちに地域行事を子ども主体で企画・運営していくような体験をしていれば、いずれは中学生、高校生になったときに、そういった活動ができ、地域活性化につながっていくそうですね。

〈公民館長〉

そうか。学力と言われたら学校だけの問題だと思っていたけど、地域の問題にもつながってきますね。こういったコミスクの取組が、地域の担い手が育ち、地域が元気になるこ

とにもつながっていくのか。学校のお手伝いを一方通行で行うという考えではなく、Win-Win の関係になろうということですね。

～みんなうなずく～

〈副会長（学カグループ司会）〉

夏休みに入ると、子ども会で夏の行事が多くあるので、そこで何か一つ、子どもたちが企画を話し合うことができるといいのですが…いきなり入れるのは難しそうですね。

〈公民館長〉

公民館では、夏休み中に放課後子ども教室の活動を多く行っていますので、そこで子どもたちが企画し、活動に取り組むような場を取り入れるよう提案してみますよ。ただ…少し自信がないので、誰かそういった活動に詳しい方に入っていただくと助かるなあ。

〈民生児童委員〉

たしかに、子どもたちが企画・運営していくことを、うまくまとめていけるのかが心配ですね。けっこうコーディネート力が問われる気がします。

〈校長〉

このあとの全体協議の中で、NPO 法人「アソビバ」の〇〇さんに聞いてみましょう。先ほども、子どもの体験活動について話されていましたから、よい案をいただけるかもしれません。

～みんなうなずく～

〈副会長（学カグループ司会）〉

他にありませんか。

〈会長〉「地域の名所・名人紹介資料の作成」付箋を貼る

いいですか。様々な学年の授業の中で地域学習が行われていますが、課題として挙がっているように、地域のことを知らない先生が多いことは事実です。調べるのにも時間が掛かるため、地域の名所・名人の一覧表があれば、それを見て、地域コーディネーターさんに、授業で活用したい地域教材・人材につないでいただくお願いがしやすくなると思います。

【〈進行〉この後、話し合いは続いていきますが、この部分はカットします】

〈副会長（学カグループ司会）〉

皆様、様々なアイデアをありがとうございました。時間が迫っていますので、Aグループの意見をまとめていきます。

この後の全体協議の中で、今回の解決案の中で早速取り組みそうなものを提案していきます。出たアイデアの中で、すぐにできそうなことはどれでしょうか。

〈民生児童委員〉

やはり最初は「ボランティアによる校内見守り活動」だと思います。早急に取り組むべき課題ですし、声掛けをすれば集まる人は多いと思います。

～みんなうなずく～

〈副会長（学力グループ司会）〉

そうですね。自治会や敬老会、PTA にも声掛けすれば、人はすぐに集まりそうです。「学習ボランティア」も実現できそうですが、登校時間と違って、時間帯がバラバラですし、常に保護者が授業を参観するような状況になるので…少し検討が必要ですね。

〈校長〉

「学習ボランティア」、学校側としては大変助かります。どのような場面で必要か、教員のニーズも確認した上で、また次回の学校運営協議会で提案させていただきます。

〈会長〉

「子どもと関わるボランティアの研修」もすぐには難しそうですが、来年度以降の PTA 研修などに入れることができるかもしれませんね。

〈公民館長〉

「子どもが地域で活動を企画する場」については、夏休みの放課後子ども教室の中で取り入れます。まずは地域の中心である公民館から行っていきますよ。

〈会長〉

「地域の名所・名人紹介資料の作成」については、地域に昔からの古い友人が多くいるので、竹とんぼ名人、コマ名人などいろいろな名人を知っていますよ。地域の名所もこの地域で私が一番よく知っているんじゃないかな。

〈副会長（学力グループ司会）〉

私もこれまで地域学習に協力をお願いしてきた人たちが多くいますので、そこのつながりからも更に人材が見つかると思います。人と人をつなげていくのは、私の趣味のようなものです。喜んですぐに取り掛かりますよ。

皆様、当事者としてのご意見、ありがとうございます。では、全体協議の中ですぐに取り掛かれることとして、次の3点を提案します。

一つ目は、朝不安定な子どもが多く、子どもも先生も落ち着いた雰囲気で学校生活を始められないという課題から、登校見守り活動の範囲を少し拡大し、校内でも見守り活動を行っていくこと。

二つ目は、自分の考えを伝えたり、対話をしたりすることが苦手といったコミュニケーション面での課題から、子どもたちが授業で行っている話し合い活動がより生活と結び付いていくように、地域行事の中でも、子どもたちが企画・運営していくような活動を取り入れていくこと。

三つ目は、校外学習を行う上で、地域のことを知らない先生が多くいるとの課題から、地域の名所・名人紹介に関する一覧表を作成し、学校に提供することで、授業準備の際にも活用してもらうこと。以上3点です。

この後の全体会では、この3点を報告させてもらいますがよろしいですか。（参加者うなずく）皆様、ありがとうございました。

【(進行) 各グループでの熟議が終わり、再度全体協議へと移ります】

〈教頭(司会)〉

それでは、各グループより話合いの内容を報告願います。学力グループから願います。

〈副会長(学力グループ司会)〉

はい。

～模造紙を持って発表を始める～

学力グループの話合いの内容を発表します。

【(進行) 全体協議の場で、各グループが先ほどまとめた意見を発表します。ここでは、他のグループ発表とあわせて、カットします】

〈教頭(司会)〉

各グループの代表の方、ありがとうございました。
今の発表に対してご意見があれば願います。

〈副会長(地域コーディネーター)〉

地域行事の中で子どもたちが企画・運営していくような活動を取り入れていくとの意見が出たのですが…「アソビバ」の〇〇さん、この活動がうまくいくような何かよいアイデアはありますか。

〈NPO 法人理事〉

最初に子どもたちの体験の話をしましたが、やらされる体験ではなく、子どもたちが主体となった体験が大切だと思います。子どもたちが主体となった話合いであれば、たとえうまくいなくても、意味ある体験となるのではないのでしょうか。もちろん、子ども主体とはいえ、生命や人権の問題になるようなことは指導しないといけません。

子どもが企画・運営する体験活動はよく「アソビバ」の会でも実施していますので、もしご心配であれば、話合いをされるときにそちらへうかがいますよ。

〈公民館長〉

それは助かります。公民館でさっそく行っていきたいと考えています。このあと日時をお知らせしますので、ぜひ願います。

〈会長〉

PTA 会長さん、校内での見守り活動について、PTA としての参加はいかがですか。

〈PTA 会長〉

年度初めに PTA では「できるときに、できることを、できる人がしていこう」をテーマに掲げていますので、登録フォームで人数を取りまとめて、PTA としても参加できると思います。来週、PTA 本部会がありますので、早速提案してみます。

ただ、見守りの趣旨について参加者の認識にちがいがあってはいけませんので、趣旨や

内容についての共通見解は示していただけますか。

〈校長〉

分かりました。生徒指導主事とも話をして、お願いしたい見守りの趣旨と内容について、早急にまとめるようにします。

〈PTA 会長〉

あわせていいですか。地域の名所・名人紹介に関する一覧表を作成する取組、とてもよいと思います。ただ、このような地域教材や地域人材は、先生や子どもたちだけでなく、ぜひ親や地域の人にも知ってもらいたいと思います。子どもたちが地域学習で調べたことについて、何か発信することはできませんか。子どもたちの頑張りも見ることができずし、発信する力が子どもたちの学力の一つになると思います。

〈校長〉

おっしゃるとおりです。学校として地域学習で調べたことを地域に発信できるように、教務主任・研修主任と相談してできることを協議し、職員会議にて諮るようにします。

〈教頭（司会）〉

他に何かご意見はないでしょうか。…それでは、時間もきましたので、最後に西村会長から、本日の議決内容の確認と今後の動きも含め、ご挨拶をお願いします。

〈会長〉

本日は長時間、みなさま当事者意識をもって、熱心な熟議をありがとうございました。では本日話し合われた内容について、取り組んでいく方の確認をしていきます。

一つ目は、朝の校内の見守り活動について、取り組めるところはありますか。

〈民生児童委員〉

民生児童委員で毎朝の登校見守り活動をしているので、次の民生委員会で呼び掛けてみます。

〈副会長（地域コーディネーター）〉

自治会・敬老会の方も登校見守り活動に参加しているので声掛けします。

〈PTA 会長〉

PTA でも次の本部役員会で提案し、参加できるようにします。

〈会長〉

ありがとうございます。二つ目は、地域で子どもたちが活動を企画・運営する場を設けることについて、取り組めるところはありますか。

〈公民館長〉

夏休みに公民館で放課後子ども教室がありますので、早速取り入れてみます。

〈NPO 法人理事〉

放課後子ども教室での活動に参加させていただきますし、「アソビバ」の活動の中でも、

子どもが企画・運営する活動を積極的に取り入れていきます。

〈教頭〉

学校でも、授業での話し合い活動の更なる推進に努めていきます。日程が合えば、コミスク担当教員が、公民館活動を見に行けるように職員会議で諮ります。

〈会長〉

ありがとうございます。三つ目は、地域の名所・名人紹介に関する一覧表の作成について、取り組めるところありますか。

〈副会長（地域コーディネーター）〉

地域教材や地域人材についてはある程度把握できていますので、早速作成します。自治会長さんにもお尋ねして、自治会ごとに聞いていただくようにします。

〈会長〉

私も昔からの友人で地域のいろいろな名人を多く知っていますので、一覧表の作成を手伝いますよ。

皆様、ありがとうございます。以上の3点を議決内容として提案します。委員の皆様、ご賛同いただけますか？

～みんなうなずく→拍手～

ありがとうございました。次回第3回学校運営協議会で、今回の決まった内容に取り組んでみての成果や課題について協議をしたいと思います。次回は9月3日金曜日19時からこの会場で行いたいと思いますがよろしいですか？

～拍手～

本日の議事録は、私から一両日中にお送りします。それをもとに各組織で協議して「協働」につなげてください。学校はそれら組織と密接に連携して、マネジメントをお願いします。

本日の会では、子どものことを1番に考え、当事者意識をもって多くのアイデアをご提案いただきありがとうございます。今回のようにアイデアを具体的な形にしていくことは次の協議会にもつながっていきます。第3回の協議会では、今回決定した取組内容についての経過報告をお願いします。

自分が果たすことのできる役割は何かを考え、大人が本気になって取り組むと、子どもたちにも必ず伝わります。大人が本気になって、子どもたちの未来、地域の未来をつくっていきましょう。

今後もしよろしく申し上げます。本日は、ありがとうございました。